

この説明文書はお薬とともに保管し、ご使用の際には必ずお読みください。

第2類医薬品

漢方薬

葛根湯 Aエキス細粒「分包」三和生薬

カ ッ コ ン ト ウ

製品の特徴

葛根湯は、漢方の原典と言われる「傷寒論」^{しょうかんろん}「金匱要略」^{きんぎょりやく}に記載されている漢方処方
で、体力が中等度以上の方の、感冒の初期(汗をかいていないもの)、鼻かぜ、鼻炎、
頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み^{いたみ}に用いられます。

葛根湯Aエキス細粒「分包」三和生薬は、葛根湯をエキス化し、服用しやすい細粒に
した製品です。



使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
 - 胃腸の弱い人。
 - 発汗傾向の著しい人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。 むくみ、排尿困難
 - 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこぼわりに加えて、 脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、 褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 1ヵ月位(感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

体力中等度以上のもの次の諸症：

感冒の初期(汗をかいていないもの)、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

用法・用量

1回下記量を食前又は食間に水又はお湯と一緒に服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
大人(15才以上)	1包	3回
7才以上15才未満	2/3包	
4才以上7才未満	1/2包	
4才未満	服用させないでください	

食間とは、「食事と食事の間」という意味です。食事のあと2時間ぐらいたったところで服用してください。

<用法・用量に関する注意>

(1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分・分量(3包(6.0g)中)

葛根湯エキス……………4.1g

カクコン……………4g	マオウ……………3g	ケイヒ……………2g
カンゾウ……………2g	シャクヤク……………2g	タイソウ……………3g
ショウキョウ……………1g		

添加物として、乳糖、セルロース、部分アルファー化デンプン、ステアリン酸Ca、無水ケイ酸を含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 1包を分割して服用した残りは、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。
- (6) 本剤は、生薬を用いた製剤ですので、製品により色が多少異なることがありますが、効果に変わりはありません。

お問い合わせ先

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店又は下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

湧永製薬株式会社 お客様相談室

☎0570-666-170

受付時間 9時～12時、13時～17時(土、日、祝日を除く)



販売元

湧永製薬株式会社

広島県安芸高田市甲田町下甲立1624

本社：大阪市淀川区宮原4丁目5-36

http://www.wakunaga.co.jp/



製造販売元

三和生薬株式会社

栃木県宇都宮市平出工業団地6-1